

★ 小学2年生のみなさんにおすすめの本 ★



# よんでみて!



ならしのしりつ としょかん

## 『かさじぞう』

瀬田 貞二／再話 赤羽 末吉／え 福音館書店 **Eア**

大みそかの日、おじいさんはあみがさをうりにまちへ  
行きました。でも一つもうれません。そのかえり道、ゆ  
きをかぶっている穴にんのじぞうさまをみて、おじい  
さんは、うりもののかさと、じぶんのかぶっていたかさを  
じぞうさまにかぶせました。



## 『いっすんぼうし』

いしい ももこ／ぶん あきの ふく／え  
福音館書店 **Eア**

からだの大きさが手のおやゆびくらいしかない男の子、  
いっすんぼうし。ひめさまのおともでおてらにおまいり  
にいくと、おにたちがあらわれました。いっすんぼうしは、  
はりのかたなでたちむかいます。



## 『チムとゆうかなせんちょうさん』

エドワード・アーディゾーニ／ぶん・え  
福音館書店 **Eア**

ふなのりになりたいチムは、ある日とうとう船にしの  
びこみます。ところが、あらしてしずみかけた船にチム  
はとりのこされてしまいました。

※「チム」シリーズはぜんぶで11 さいつあります。



## 『きつねのホイティ』

シビル・ウェッタシンハ／さく 福音館書店 **Eウ**

スリランカのちいさなむらのおはなしです。くいしん  
ぼうぎつねのホイティは、アンゴウさんのいえのおいし  
そうなばんごはんをまどからのぞきみて、なんとかして  
たべるほうほうはないか、とかがえました。



## 『ワニのライルがやってきた』

バーナード・ウェーバー／さく 大日本図書 **Eウ**

プリムさん一家がひっこした家からききょうな音がきこえてきます。おふろばをのぞくと、大きなみどりいろのワニが！はじめはびっくりしたプリムさんたちも、やがてワニのライルとすっかりなかよしになります。

※「ワニのライルのおはなし」はぜんぶで8さつあります。



## 『きかんしゃやえもん』

阿川 弘之／ぶん 岡部 冬彦／え  
岩波書店 **Eオ**・913ア

ながいあいだはたらいてきたきかんしゃ『やえもん』は、すっかりふるくなって、あたらしいでんききかんしゃから、ばかにされたり、わらわれたり…。そんなある日、やえもんは、じけんをおこしてしまいました。さあ、やえもんはどうなるのでしょうか。



## 『はちうえはぼくにまかせて』

ジーン・ジオン／さく  
マーガレット・プロイ・グレアム／え  
ペンギン社 **Eク**

なつやすみに、トミーはきんじょの人からはちうえをあずかって、せわをすることにしました。2しゅうかんすぎると、はちうえのしょくぶつはどんだんのびてジャングルのようになってしまいました！



## 『ロバのシルベスターとまほうの小石』

ウィリアム・スタイグ／さく 評論社 **Eス**

ロバのシルベスターは、手にもってねがうとなんでものぞみがかなうまほうの小石をひろいました。ところが、はらをすかせたライオンにであったシルベスターは、あわてて「ぼくはいわ岩になりたい」とねがい、ロバにもどれなくなってしまう。



※  のなかのきごうは、せびょうしについているラベルです。

## 『ちいさいおうち』

バージニア・リー・バートン／ぶん・え  
岩波書店 [E八]

あるいなかのしずかなおかの上にちいさいおうちが  
たっていました。たいへんしあわせでしたがやがて、そ  
のいなかにもじどうしゃがはしり、広い<sup>か</sup>どうろがつくら  
れて、どんどんビルがたち、すっかり変わってしまいま  
した。そして…。



## 『ねむりひめ』

グリム兄弟<sup>きょうだい</sup>／原作 フェリクス・ホフマン／え  
福音館書店 [Eホ]

むかし、ある<sup>くに</sup>の王さまとおきさきさまに、かわいい  
おんなの子が生まれました。ところがまじよののろいの  
ために、この王女は、15 さいになった日、つむにゆびを  
さして、ふかいねむりにおちてしまいます。



## 『ふくろうくん』

アーノルド・ローベル／さく 文化出版局 [Eロ]

だんろのそばで、いいきもちでばんごはんをたべてい  
たふくろうくん。げんかんをどんどんとたたく、ゆきと  
かぜのおとをきいて、「ふゆ」をおきやくさんとしていえ  
にいれてあげようと思<sup>おも</sup>いつきます。ところが…。



## 『ふしぎなたいこ』

石井 桃子／ぶん 清水 崑／え  
岩波書店 [913イ]・[Eシ]

げんごろうさんは、人のはなをのぼしたりちぢめたり  
できるふしぎなたいこをもっていました。あるとき、じぶ  
んのはながどこまでのびるかためしてみたくだったので  
「おれのはなたかくなれ」とたいこをたたきつづけました。



## 『くまの子ウーフ』

神沢 利子／作 ポプラ社 **913カ**

くまの子のウーフは、ぶなの木を見上げました。「木はいいなあ。木になりたいなあ。」「でも…」ウーフはくびをふりました。「木は、はちみつをなめないのかな。そんならぼくは、みつばちになろう。」けれど、いったいどうやったらみつばちになれるのでしょうか。ウーフはりょう手をひろげて、ぶーんとうなってみました。

※「くまの子ウーフの童話集」はぜんぶで3さつあります。



## 『なぞなぞのすきな女の子』

松岡 享子／さく 学研 **913マ**

あるところに、なぞなぞが大すきな女の子がいました。女の子は、なぞなぞのあいてをさがしに森へでかけました。ぼったりであったのは、なんと、おなかをすかせたオオカミでした。



## 『<sup>ばん</sup>番ねずみのヤカちゃん』

リチャード・ウィルバー／さく 福音館書店 **93ウ**

ドドさんの家<sup>いえ</sup>のかべのすきまにすむねずみ<sup>いっか</sup>一家のすえっ子は、やかましやのヤカちゃん。ヤカちゃんのこえが大きいので、とうとうドドさんたちにきづかれてしまいました。



## 『おさらをあらわなかったおじさん』

フィリス・クラジラフスキー／<sup>ぶん</sup>ぶん  
バーバラ・クーニー／<sup>え</sup>え 岩波書店 **93ク・EK**

小さな家<sup>いえ</sup>にひとりですんでいるおとこのひとがいました。あるばん、ごはんをたべたあとおさらをあらわないでおきました。つぎの日もつぎの日も、そのまたつぎの日も。そしてとうとう、家じゅうがよごれたおさらだらけになってしまいました。



※  のなかのきごうは、せびょうしについているラベルです。

## 『わにのはいた』

マーガリット・ドリアン／ぶん 大日本図書 93ト

どうぶつえんにすんでいる、わにのアリは、はがいたくて、ねむることもたべることでもできません。えんちょうさんはアリをバスにのせて、はいしゃさんにいかせることにしましたが、こわくてしかたがないアリは、ついまちがったほうごうのバスにのってしまいました。



## 『ジェインのもうふ』

アサー＝ミラー／さく 偕成社 93ミ

ジェインは、ピンクのもうふが大すきでもうぼろぼろになってしまったいまも、そのもうふをはなしません。ある日、もうふをまどにおいておいたら、あおいとりが、一わやってきてもうふから糸をひきぬいているではありませんか。



## 『ちびドラゴンのおくりもの』

イリーナ・コルシュノフ／さく 国土社 94コ

ハンノーは学校にいきたくありません。いけば、うしろのせきのルートビヒが「デブソーセージ」っていうからです。ある日、ひとりぼっちのハンノーは、こうえんで、小さなくらいあたまに、赤い舌のドラゴンにであいました。

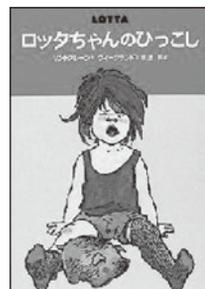


## 『ロッタちゃんのひっこし』

アストリッド＝リンドグレン／さく 偕成社 94リ

ある朝、あさ、ロッタはぶりぶりして目をさました。それからは、きにいらぬことばかりおこります。とうとうロッタは、いえて、家出をすることにしました。ひっこし先をみつけるとロッタは…。

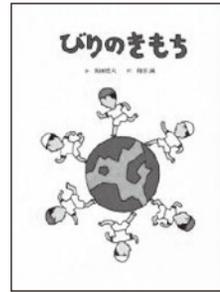
※「ロッタちゃん」シリーズはぜんぶで4さつあります。



## 『びりのきもち』

阪田 寛夫／詩 和田 誠／え 童話館出版 **E7**

「おなかのへるうた」や「サッチャん」という歌をみんなは知っているかな？歌のかしをかいた、さかたひろおさんの17のしがのっています。声を出してよんでみましょう。



## 『はははのはなし』

加古 里子／ぶん・え 福音館書店 **Eカ**

虫ばのせいで「は」がいたいと、「は」なんかなければいいと思いませんか。でも、「は」がないと、大すきなごちそうが食べられなくなったりしてこまります。「は」のたいせつさをたのしくまなびましょう。



## 『たんぽぽ』

平山 和子／ぶん・え 福音館書店 **Eヒ**

「たんぽぽをしていますか。」この本はこうして始まります。そして葉や花や根のことがとってもわかりやすく書いてあります。たんぽぽは花がおわるとわたげがひらきます。ふわふわわたげは風に乗ってどこへ行くのでしょうか。



## 『あしのうらのはなし』

やぎゅうげんいちろう／さく 福音館書店 **Eヤ**

手のひらと足のうらをくらべてみると、にているところがあります。動物の中には、手とおなじように足をつかうことができるものもいます。あなたも足のうらの形をとってみたり、手とおなじようにつかうことができるかためしてみましよう。



※  のなかのきごうは、せびょうしについているラベルです。

# ようこそ としょかんへ!

## はじめて本をかりるとき

<sup>じゅうしょ</sup>住所のかいてあるもの(なふだ、じぶんのところにきたてがみなど)をもってカウンターにきてください。「図書館カード」をつくります。

## かりるとき

かりたい本と、図書館カードをカウンターにもってきてください。  
ひとり **10さつ**まで **2しゅうかん**かりられます。  
CD・DVDは **2てん**まで **2しゅうかん**かりられます。

## かえすとき

カウンターに本をもってきてください。  
としょかんがお休みのときは、ブックポストにかえすこともできます。

## 本が見つからないとき

としょかんの人に<sup>き</sup>聞いてください。  
ほかにも、わからないことがあったら<sup>き</sup>どんどん聞いてください。  
かだしちゅうの本は、よやくすることもできます。

## おはなし会<sup>かい</sup>

えほんのよみきかせや、たのしいおはなしをします。  
日にちや、じかんは「おはなし会のおしらせ」を見てください。

